

日本のウニは90%を輸入・世界生産量の80%を消費



JIFAS 念願のウニの養殖を本年5月開始

ウニ養殖は経済効率が非常に難しいと言われてきました。JIFASは長年ウニの陸上養殖研究を養殖技術の先進国オーストラリアの企業・機関と続けてまいりました。

養殖開始に必須条件である餌の開発・養殖技術の習得により、陸上養殖実施の実現性を確信したため、本年5月から試験養殖そして終了後に本格養殖を開始することになりました。

日本のウニ消費は海外産に90%も頼っている現状を考えると、JIFASは少しでも国内需給率を高め、より安全・安心で美味しいウニを提供できるよう努力していきたいと思っております。

ジム氏からのメッセージ

今回、JIFAS がウニの陸上養殖を開始することに当り、私の長年にわたるウニ養殖の経験と技術を全面的に提供することになり、とても光栄に思っております。

私は18年前までウニが日本人にこれ程好まれて食べられているという事も知りませんでしたし、ウニを食べたこともありませんでした。当時アワビの養殖をしていた私は、この事実を聞いて、早速自分で海に潜りウニをとり食べてみました。そしてその美味しさに驚き、それ以来ウニの魅力に取りつかれてしまいました。

2007年にはウニの養殖会社を立ち上げ、餌の開発はアデレードにあるアワビの餌の会社と共同で開発してきました。当初は天然の身入りの悪いウニに餌を投与して、ウニの畜養をしようとしたが、最終的に閉鎖式陸上養殖の道を選びました。

それ以降大学の研究機関とも共同でウニの養殖実施可能性を追求してきました。ウニの品種を、白髭ウニにターゲットを絞り、その生態を観察し、養殖環境を研究し、養殖にベストな設備、餌を開発することが出来ました。数多くのパイロット試験養殖を繰り返し、今年度オーストラリアで新しいウニの養殖事業を開始することになりました。

同時期に日本でも開始することになり、私の経験を活用して頂けるのは誠に光栄であり、JIFAS と共により質の高いウニ養殖を実現できる事を楽しみにしています。

養殖したウニの卵



養殖ウニを割った写真

